

## 編集委員会から

### 日本食品工学会誌の範囲 (ストライクゾーン)

最近、日本食品工学会誌 [Japan Journal of Food Engineering (JJFE)] に、海外から投稿に関する問い合わせが来ます。多くの場合は、自分が投稿しようと考えている論文を受けつけてくれるかどうかという問い合わせ (質問) です。

日本食品工学会ウェブサイトの「学会誌」ページには、『日本食品工学会誌は日本食品工学会の全会員に食品工学および関連領域に関わる情報を伝達・普及する目的で発行する』と非常に簡単な説明しかありません。

「学会の目的」ページには、

『これまでの個別的・解析的志向性の強い食品科学研究の方向性に対して、その重要性は十分に認識しつつも、それとはまったく逆の志向性として、食品をよりマクロな立場から総合的・系統的に捉えることを最大の特徴とする。このような観点に立脚する学会は、食品科学の研究成果を実際の食品生産の場に還元する場合に必要不可欠であり、日本食品工学会がその役割を受け持つ。』続いて、『具体的には、下記の項目の遂行を目標とする。』とあり、いくつかの項目が記載されています。学会誌に関連する項目は下記ですが抽象的です。

- ・食品に関する総合科学としての食品工学の学問体系の深化と発展
- ・食品産業における工学的基盤の強化と拡大
- ・革新的な技術の方法論の創出と導入

英語版もほぼ同じなので、海外の投稿希望者は、どのような分野の論文を掲載するのかわかりません。最近では、いろいろな分野の投稿の問い合わせがあるので、調べてみると、海外の Food Engineering の学術雑誌では、以下の分野の論文を対象とすると書いてあります。

Engineering properties of foods, food physics and physical chemistry; processing, measurement, control, packaging, storage and distribution; engineering aspects of the design and production of novel foods and of food service and catering; design and operation of food processes, plant and equipment; economics of food engineering, including the economics of alternative processes.

かなり多くのキーワードを含んでいます。Food service and cateringなどは、Food Engineering と関係づけるのが難しいように思えます。

現在は、投稿原稿が日本食品工学会誌 (JJFE) の範囲か範囲外であるかを、編集委員会で判断していますが、判断に悩む原稿もあります。読者も、すこし不思議に思う論文を目にするかもしれません。

どこまでを範囲 (ストライクゾーン) にするか、今後の検討課題です。



(山口大学 山本修一)